

与謝の海病院NEWS

平成21年1月
Vol.117

～ 患者が中心の、地域に開かれた病院 ～

京都府立与謝の海病院
〒629-2261
京都府与謝郡与謝野町字男山481
電話/FAX 0772-46-3371 (代表)
http://www.pref.kyoto.jp/yosanoumihp/
●発行責任者：柴田事務部長

新年を迎えて



京都府立
与謝の海病院院長
内藤 和世

新年あけましておめでとうございます。穏やかな新年をお迎えのことと存じます。

最近数年の間に、わが国の医療提供体制に大きな変化が見られました。新医師臨床研修制度の発足に伴い、医師不足問題、周産期医療、救急医療などの多くの問題が各地で

起こり、市民病院が閉鎖する地域まで現れました。まさに地域医療の崩壊といっても過言でない状況になっています。これらの問題は、冷静に考えてみると、もともと医療資源の乏しい、従来から医師確保に困難を極めた地域から起こっています。また、都会でも救急医療体制は以前から問題を抱えていた領域です。さらに、自治体の財政状況の悪化もあり、公立病院を中心に経営改革が強く求められたことも追い打ちをかけました。臨床研修制度に端を発する医師不足問題が原因のように言われますが、これまでから内在していた矛盾が一挙に吹き出て、事ここに至ったのだと思います。この状況を打破するには、医療提供のシステム全体を再構築する必要があると考えています。

京都府北部も例外ではなく、同じような状況に陥っています。与謝の海病院では、これまで、病院が地域の中で機能を十分に発揮し、患者様に満足していただだけ、職員が誇りと気概を持って働けるための改革を行ってきました。地域の病院、診療所の先生

方、訪問看護ステーションや介護にかかわる方とのネットワークも整ってきました。しかし、医療資源の乏しい当地域では、何から何まですべて欲しい、と言っても無理であり、できること、できないことがあります。今年は、ぜひとも地域の皆様自身にこの地域の医療について考えていただきたいと思っています。この地域の医療を守り、育てていくために、医療機関はどうしたらよいか、また、地域住民はどうしたらよいか、たがいに意見を交換し、新しい地域医療の姿を作っていかなければならないと思います。

与謝の海病院は、地域の皆様と共に「患者が中心の、地域に開かれた病院」にしていきたいと思います。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成21年元旦

丹後医療圏



丹後2市2町 [京丹後市・宮津市・伊根町・与謝野町]

主な内容

- 1 ページ ●年頭あいさつ
- 2 ページ ●診察室 ー小児科ー ●新型インフルエンザ訓練
●一ロレシピ
- 3 ページ ●診療科紹介 ー脳神経外科ー ●ナースのお仕事 B2 病棟
- 4 ページ ●外来各科診察担当医表 ●人事異動
●車椅子 寄付



診察室

『インフルエンザにご注意』 一小児科医長 小川 弘一



小児科で扱う病気のうちこれからの季節においてインフルエンザ、クループ症候群、急性細気管支炎やウイルス性胃腸炎が流行します。今回はインフルエンザについてお話しします。

今年のインフルエンザは例年よりも早い時期から各地で集団発生しており、流行株も昨年とは変わっているののでできるだけ早く予防接種を受けることをおすすめします。咳や鼻水など呼吸器症状がないのに悪寒戦慄を伴う高熱が見られた場合はインフルエンザの可能性もあります。医療機関で診断を受けるにあたり注意すべき点は、迅速検査でインフルエンザと診断できるまでには発症後半日くらいは必要ですので、もしインフルエンザを心配されるならもし夜に発熱があっても水分をし

っかりとり、翌朝医療機関にかかられた方が賢明でしょう。

もしまわりにインフルエンザにかかっている方がいればマスク、手洗い、うがいなどの感染予防対策が重要です。治療ですが、数年前からタミフルなどの抗ウイルス剤が開発され症状の強い期間が短くすむようになりましたが、基本的に自然治癒する病気ですのでタミフルなどの抗ウイルス療法が必須ではありません。経過中高熱による水分需要が増えますが、適宜水分のみならず電解質を補給するのが望ましく、当院に設置しているOS-1をはじめとした経口補液剤を飲ませるのが食欲不振時における脱水の予防に最も適しています。これらの点に注意してこの冬をうまく乗り切るようにしましょう。



新型インフルエンザ
患者発生時対応訓練

新型インフルエンザの発生に備え、発熱外来の設置（屋外テント）、トリアージから入院までの業務を速やかに行うために、11月27日（木）に対応訓練を行いました。

訓練では京都市内で発生した患者と接触した5人が発熱などを訴え診察を求めているとの想定で、発熱外来のテント設営、誘導・受付・診察・入院搬送経路での交通整理など一般外来患者らとの接触を避け、効率的に運営できるかなどの確認を行いました。（感染予防対策委員会）



この他、詳しい新型インフルエンザの情報は京都府ホームページをご覧ください。

京都府ホームページ ▶▶ 健康・医療 ▶▶ 京都府の健康対策 ▶▶ 新型インフルエンザ対策



伊達巻き【材料（4人分）】

- 玉子 4個 ● 白はんぺん 1枚
- 砂糖 大1 ● 薄口しょうゆ 1～2滴
- みりん 大1 ● 酒 大1

- ①四角のフライパンに薄く油を引き、全ての材料を合わせてミキサーしたものをフライパンに流し入れます。
- ②アルミなどでふたをして極弱火で約4分間焼く。
- ③焼けたらまきすに、焼き面が下になるようにくるくる巻き両端をゴムでしばる。
- ④1時間位そのままにしておく。

（栄養管理課）



元旦の昼食に入院中の患者様におせち弁当を召し上がっていただきました。元旦、春、秋と年3回お弁当を企画しています。

診療科紹介 — 脳神経外科 —



脳神経外科診療では主に脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷および慢性頭痛などの患者さんを対象としております。一般的に脳卒中のカテゴリーの中には脳出血、くも膜下出血、脳梗塞が含まれます。脳卒中は初期治療が非常に重要であり、特に

脳梗塞の患者さんでは約3割の方に脳梗塞になる前に一過性脳虚血発作という神経症状の出現があることが分かっております。四肢の脱力感、手足のしびれ、複視、呂律困難、言語障害、ふらつきなどの症状が出現した時点で速やかに来院されることをお勧めします。早期診断・早期治療を開始することで症状の悪化を防ぐことが期待されます。

現在、脳梗塞に対する治療はほとんどが点滴治療ですが、一部の患者さんには外科治療が必要になる

ことがあります。特に動脈硬化に伴う頸動脈狭窄症に対しては脳梗塞の予防を目的とした外科治療が必要になります。従来は頸部に切開を入れ頸動脈の内側に溜まったプラークを切除する外科手術が一般的でしたが、近年の血管内治療の発達に伴い、従来の外科手術とは異なり血管の内側から血管を広げるカテーテル治療（頸動脈ステント留置術）が可能となりました。局所麻酔で治療ができるため特に高齢者の患者さんにとっても低侵襲な治療として現在普及されてきております。

これからの時代は病気になる前に治療を行なう予防医学が脳神経外科領域においても重要になることと考えます。脳ドック検査にて異常がなくても高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満、喫煙などは脳卒中の危険因子であり日頃からの内科管理が重要であることは論を俟ちません。脳神経外科ではこれからも地域に根ざした患者さん主体の病院として最新でかつスタンダードな治療を提供できるよう日々研鑽を積む所存です。

脳神経外科医師 松岡 秀典



ナースのお仕事・B2病棟

B2病棟は、南棟の2階に位置し、【集中治療室】の役割を担っています。オープンフロアー5床、個室11床の16床を25名の看護スタッフが守っています。

【集中治療室】とは、〈腹部や頭部など大きな手術後の方〉、〈循環・呼吸機能の低下により人工呼吸が必要な方〉、〈交通外傷などにより意識に障害のある方〉など重症な患者様の治療・看護を専門に行う病棟です。人工呼吸器・輸液ポンプ・呼吸心拍モニター、補助循環装置など数多くの医療機器に囲まれて25名の看護師が働いています。刻々と変化する重症な患者さまの状態を的確に捉え、判断し、救命を第一優先に対応しています。

しかし、機械的な処置に終わることなく、可能な限り患者さまの生活リズムを考慮して、「笑顔と優しさ」を忘れず、日常生活の援助を行っています。

時には、ご家族の方と一緒に体を拭かせてもらうこともありますので気軽に看護師に声をかけてください。



限られた面会時間の中での、ご家族の思いを大切に、点滴の林の中で眠る患者さまが回復し、一般病棟へ「笑顔」で移られることを願いつつ毎日看護を行っています。



丹後医療圏の急性期医療を担う病棟として、HEART（命）とHEART（心）を支える看護を目指してスタッフ一同がんばりますのでよろしくお祈りします。



外来各科診察担当医表

(平成21年1月1日)

診察室	診療科	月	火	水	木	金	
11	総合内科	時田 和彦 副院長	木村 晋三 医長	大月 亮三 医長	時田 和彦 副院長	半田 修 医長	
12	呼吸器科	小暮 彰典 医長 (糖尿病)	大月 亮三 医長		小暮 彰典 医長 (糖尿病)	大月 亮三 医長	
	消化器科			西川太一郎 副医長 (肝臓)			
13		高田 久 副医長	奥田 隆史 副医長	濱口 恭子 医師	半田 修 医長	大野 智之 医長	
14	循環器科	本庄 尚謙 副医長	五十殿弘二 副医長	吉川 修 医長 (腎・高血圧)	木村 晋三 医長	田川 雅梓 副医長	
26	精神科神経科	常見 哲平 医師	上村 宏 医長	上村 宏 医長	上村 宏 医長	常見 哲平 医師	
23	小児科	小川 弘 医長	菊地 顕 副医長	小川 弘 医長	菊地 顕 副医長	小川 弘 医長	
18	外科	1診	内藤 和世 院長	當麻 敦史 副医長	伊藤 剛 医長	中村 憲司 医長	藤 信明 診療部長
		2診	川口 耕 医師		上田 英史 医師		佐々木裕二 医師
	乳腺クリニック(午後)	中村 憲司 医長					
22	整形外科	(1,5週)白須幹啓 医師 (2週)酒井 亮 副医長 (3週)井上 裕章 医師 (4週)戸谷 祐樹 副医長	戸谷 祐樹 副医長	酒井 亮 副医長	白須 幹啓 医長	井上 裕章 医師	
17	脳神経外科	松岡 秀典 医師			松岡 秀典 医師		
19	眼科	1診	永田 健児 医師	永田 健児 医師	小森 秀樹 医長	小森 秀樹 医長	畑中 宏樹 医師
		2診	畑中 宏樹 医師		畑中 宏樹 医師	永田 健児 医師	
20	産婦人科	安尾 忠浩 副医長	野口 敏史 副院長	山口 剛史 医長	(奇数週)山口剛史 医長 (偶数週)安尾忠浩 副医長	野口 敏史 副院長	
24	泌尿器科	清水 輝記 医師	松原 弘樹 医長	松原 弘樹 医長	清水 輝記 医師	松原 弘樹 医長	
25	耳鼻咽喉科	1診	長谷川達央 副医長	松波 達也 医長	松波 達也 医長	松波 達也 医長	松波 達也 医長
		2診		長谷川達央 副医長	長谷川達央 副医長	長谷川達央 副医長	
21	ペインクリニック		(奇数週)松山広樹 医長 (偶数週)梅内貴子 副医長				
16	皮膚科	花田 圭司 医長	花田 圭司 医長	花田 圭司 医長		花田 圭司 医長	

●受付時間/8:00~11:00(ただし、乳腺クリニックは14:30まで) ●閉診日/土・日・祝日(急患は、時間外でも診察)

異動情報

診療科名	退職者 (平成20年12月31日)	
整形外科	副医長	大久保 直 規
診療科名	採用者 (平成21年1月1日)	
整形外科	副医長	酒 井 亮



車椅子寄贈

平成20年12月15日(月)、「小さな親切」運動 京都府本部様(代表 安村幸駿氏)から車いす2台が寄贈されました。玄関ロビーに配置し患者さまに御利用いただいています。



いっしょに働きませんか? ~薬剤師・看護師募集~

当院では、現在、薬剤師の嘱託職員、看護師・准看護師・助産師の臨時職員を募集しております。条件等については、お気軽にお問い合わせください。

勤務時間は相談に応じます。
年齢制限はございません。
給料は経験によります。

【お問い合わせ先】京都府立与謝の海病院 庶務課 0772-46-3371 (代表)

【発行】京都府立与謝の海病院 【編集】与謝の海病院広報委員会 【問合せ先】庶務課
TEL/FAX 0772-46-3371(代表) ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/yosanoumhp/>